

《人権を尊重した主な取組や成果》

ステーションコンセプト『いっしょに、ね!』の精神で、開局時から変わらず、誰もがマイクの前で思いを伝えることができるラジオ番組の制作を続けています。

障害者・女性・子供・性的マイノリティなど、社会的弱者みんなが自分の思いをはっきりと伝えることができ、地域に根ざした、人にやさしい、そして心に響く放送を発信しています。

特に力を入れている取組

誰もがスポーツを楽しめる 共生社会を目指した取組

パラスポーツアスリートをパーソナリティに障がい者スポーツの楽しさ・面白さや、大会・イベントなどあらゆる情報を集約し、発信する番組「パラスポ三角山」を通じて、障がいのあるなしにかかわらずお互いが個人の違いを理解し尊重し合い、自然と共生意識が高まるような地域社会づくりに取り組んでいます。



障がいの
ある人

パラ・パワーリフティング
戸田選手

「いっしょにね!文化祭」の開催

誰もが共生していける社会を目指すために、これまでに築いた様々な方々とのネットワークを生かして平成24年に「特定非営利活動法人 三角山」を設立し、平成26年から障がいのある人もない人もいっしょにステージを構築して、お互いが相互に理解しあえる地域社会活動「いっしょにね!文化祭」に取り組んでいます。



女性

子ども

障がいの
ある人

性的
マイノリティ

関連した取組

■人権に関する他の制度などの認定状況

- ・バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰
内閣府特命担当大臣表彰優良賞(内閣府, 2011年)
- ・ダイバーシティ経営企業100選
促進企業表彰(経済産業省, 2012年)
- ・札幌弁護士会人権賞(2013年)

■SDGsの取組と目指すゴール

三角山放送局の「いっしょに、ね」の理念は、SDGsの「誰一人取り残さない」との理念と通底する考え方です。身近な地域活動(ヒト、モノ、団体)をSDGs的視点で捉え直すことによって、各所におけるSDGs推進のきっかけになればとの思いから「SDGs推進のためのラジオ番組」を放送(毎週木曜14時~15時)しています。



会社概要

当社はラジオ番組やイベントの企画制作を手がけてきましたが、自分たちの放送局を作りたいとの思いから、札幌市内で3番目となるコミュニティFM「三角山放送局」を開局しました。「いっしょに、ね」をステーションコンセプトとし、以下の3点をルールとし、市民が伝えるための場を提供しています。

- ① 伝えたいことがある人がマイクの前に座る
- ② 社会的に弱い立場にある人たちの声を決して切り捨てず、積極的に届ける
- ③ 放送で嘘はつかない

企業情報		放送局のご案内	
設立年	1993年	開局	1998年4月1日
資本金	36百万円	名称	さっぽろにしエフエムほうそう
代表者	代表取締役社長 杉澤 洋輝	愛称	三角山放送局
従業員数	5名	周波数	76.2MHzFM
本社所在地	札幌市	放送地域	札幌市西区及び周辺地域



放送局ホームページ
<http://www.sankakuyama.co.jp>

